

今週（9月11日から9月15日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み最終週となる中、邦銀業態の積極的な資金調達ニーズを背景に、日を追う毎にレートを切り上げる展開となった。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、週前半は▲0.06～▲0.048%での推移となったが、13日(水)に急激に上昇した事で、14日(木)までは▲0.015%前後での推移となった。最終日となった15日(金)は、3連休前の4日積みとなったものの、4分の3が16日からの新積み期間に適用されるため、レート水準は前日比で大幅に低下する展開となった。

ターム物に関しては、期内物、期越え物でレート感にバラつきがあるものの、ともに散発的な出会いが見られた。

日銀当座預金残高は、財政等要因や各種金融調節により541兆円前後での推移となった。

また金融調節では、事前予定通り14日(木)に、5本目となる貸付期間5年(2023年9月15日～2028年9月15日)の共通担保資金供給オペ(全店・金利入札方式)が10,000億円でおfferされた。結果は、応札額37,318億円、落札額10,005億円、按分レート0.170%、平均落札レート0.208%、按分比率6.3%となった。

●レポ市場

今週のGCT/Nは、▲0.120～▲0.085%のレンジでの取引となった。積み期間終盤となったこともあり、当初はオファーサイドの資金調達ニーズが強かったものの、14日(木)に共通担保資金供給オペが実施された事で、オファーサイドの勢いが減退する場面も見られ、レート目線は低下した。

SCは、カレント銘柄近辺やチーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、概ね横ばい圏で推移した。

12日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でおfferされ、按分利回較差+0.010%、平均利回較差+0.017%と、弱い結果となった。

15日の3M物入札は、事前予想に比べ強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、小売業、石油、医薬品等複数の業態が大型発行を実施した。全体としては週間発行総額12,000億円程度、週間償還総額10,000億円程度と発行超のマーケットとなった。

市場残高は週を通して概ね27兆円近辺で推移した。

発行レートは、日銀適格担保銘柄では概ね0%前後での出会いが中心であったが、ロングターム物については一部の投資家に慎重な姿勢が見られ、レート水準にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/11 (月)	32,467.76	0.705	146.92	△ 0.060	△ 0.095	5,414,400
9/12 (火)	32,776.37	0.705	146.63	△ 0.048	△ 0.095	5,415,200
9/13 (水)	32,706.52	0.705	147.24	△ 0.016	△ 0.091	5,394,500
9/14 (木)	33,168.10	0.705	147.12	△ 0.012	△ 0.105	5,413,000
9/15 (金)	33,533.09	0.705	147.50	△ 0.043	△ 0.121	5,435,300

来週（9月19日から9月22日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
9/18 (月)	敬老の日				
9/19 (火)		TB1Y 35,000億円 9/20発行	流動性供給 5,000億円 9/20発行		米 FOMC(1日目) 8月の米住宅着工件数 8月のユーロ圏消費者物価指数改定値
9/20 (水)	4-6月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 8月の貿易統計(財務省 8:50)				米 FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 8月の英消費者物価指数
9/21 (木)	日銀金融政策決定会合(1日目 14:00~)	TB3M 56,000億円 9/25発行	流動性供給 5,000億円 9/22発行		英中銀 MPC 8月の米中古住宅販売
9/22 (金)	日銀金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 8月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)				

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/18 (月)	敬老の日								
9/19 (火)	600	11,900	12,500	CP買入 社債買入 国債補完	▲ 300 ▲ 1,200 27,000		25,500	38,000	TB3M発行▲56,000償還63,000
9/20 (水)	▲ 1,000	43,000	42,000				0	42,000	国債の大量償還・利払い TB1Y発行▲35,000償還27,700 5Y償還10,800 10Y償還25,100 20Y償還7,000 流動性供給▲5,000 エネルギー対策借入▲6,200期日5,500
9/21 (木)	▲ 500	▲ 3,000	▲ 3,500	社債買入		1,000	1,000	▲ 2,500	
9/22 (金)	▲ 500	▲ 11,000	▲ 11,500				0	▲ 11,500	流動性供給▲5,000
週間合計	▲ 1,400	40,900	39,500	—	25,500	1,000	26,500	66,000	

9/19は日銀予想、9/20以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、新しい積み期間となるため、今週対比でレート水準の低下が見込まれる。債券レポ GC T/N物は、日銀の金融政策決定会合を控えるなか、▲0.13～▲0.09%のレンジでの推移が予想される。短国市場は、19日に1Y物、21日に3M物の入札実施が予定されている。また、20日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、特段の大きなイベントはない。期末に向けてどの程度期越え案件が膨らむかが注目される。

主要なイベントは、国内では21日から22日に日銀金融政策決定会合、22日に8月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、19日に8月のユーロ圏消費者物価指数改定値、19日から20日に米FOMC、21日に英中銀MPC、などが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入